

韓国・ソウル支店を現地法人化 半導体、半導体製造装置などの営業体制を強化

2005年3月28日

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：林 将章／以下、日立ハイテク）は、2005年4月1日付けにて韓国のソウル支店を現地法人化します。

現地法人の社名は「日立ハイテクノロジーズ코리아株式会社」（以下、日立ハイテク코리아）、日立ハイテクが全額出資を行い連結対象会社となります。

日立ハイテク코리아は、事業と経営の真の現地化を推進し事業の成長・拡大を図り、併せて地域統括機能を拡充することで、半導体、半導体製造装置、電子部品等の販売および輸出入を中心に初年度800億円の売り上げ（取扱高ベース）を目指します。

日立ハイテクグループにおける韓国の現地法人は、1991年に産業・医用・バイオ関連装置などの保守サービスを主目的に設立した韓国ヒスコ（ソウル市）に続き、今回で2社目となります。

日立ハイテクは、1978年にソウル支店を設立し営業活動を行ってきましたが、今回の現地法人化を契機に半導体、半導体製造装置、電子部品関連のアプリケーションサポートを強化し韓国における販売拡大を図り、2007年度に1,000億円の売り上げ（取扱高ベース）を目指しています。

新会社の概要

社名	日立ハイテクノロジーズ코리아株式会社
所在地	韓国ソウル特別市鐘路区瑞麟洞3番地永豊ビル8階
代表者	加藤 英治
資本金	15億ウォン（約1億5千万円）（日立ハイテク 100%出資）
従業員	62名

お問合せ先

お問い合わせ頂く前に、当社「[個人情報保護について](#)」をお読み頂き、記載されている内容に関してご同意いただく必要があります。当社「[個人情報保護について](#)」をよくお読みいただき、ご同意いただける場合のみ、お問い合わせください。

報道機関お問い合わせ先

総務部広報課：塩澤

TEL：03-3504-5637